



# JAMS NEWS

日本経営システム学会  
<http://www.jams-web.jp/>

## 日本経営システム学会 第71回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥こととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第71回全国研究発表大会が2023年11月18日(土)、19日(日)に開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

### 記

開催日：2023年11月18日(土)、19日(日)

主催校：東北大学 青葉山キャンパス

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

交通アクセス <https://www.eng.tohoku.ac.jp/map/access.html>

開催形式：対面での実施

連絡先：実行委員長 東北大学 石田修一 E-mail:shuichi.ishida.e6@tohoku.ac.jp

主催：日本経営システム学会

統一論題：「シネシスと経営システム」

基調講演：「シネシスと経営システム(仮)」

東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻 専攻長、教授 高橋 信 氏

参加費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円(当日支払は各 1,000 円高)

※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いいたします。

懇親会費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員 5,000 円、非会員 6,000 円

(当日支払各 1,000 円高)。準備の関係上、事前申し込みをお願いします。

昼食：最寄りのコンビニエンスストア(青葉山駅にローソン(日曜日閉店)、セブンイレブン有)をご利用ください。

宿泊：会場周辺にはホテルが多数ございますので、各自でご手配下さい。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、メール添付で学会事務局 E-Mail: keieisys@jams-web.jp へ、9月22日(金)までに送信してください。本 JAMS NEWS の発表申込書を学会事務局宛 Fax.03-3371-5185 にご送付いただいても構いません。

原稿締切：pdf および word 入稿または郵送にて、10月20日(金)まで(厳守)、学会事務局宛または第71回大会発表原稿入稿フォームからご投稿ください。

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙または HP の振込方法を参考に11月10日(金)までに上記金額をお振込み下さい。期限後に振込みされた方は振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

### ■大会会場へのアクセス

#### 仙台駅からのアクセス

- ・仙台市地下鉄東西線 「八木山動物公園」行 「青葉山」駅で下車(乗車時間9分、料金250円)  
徒歩 青葉山駅からセンタースクエア(Cエリア)工学研究科総合研究棟まで徒歩約10分
- ・タクシー 所要時間/約20分、料金/約1,800円※タクシーの所要時間と料金はたまかな目安です。  
道路の混雑の状況によって異なります

## ■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」(学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuhappyou.pdf>) に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

## ■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

- ・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とします。

---

## 2022 年 学会賞・論文奨励賞について

---

表彰委員長 深澤 琢也

標記の賞につき、学会賞・論文奨励賞選考ワーキンググループにおいて、厳正に受賞候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て、下記 4 名が 2022 年学会賞、及び論文奨励賞の受賞者に決定し、表彰されましたので報告いたします。

### 【学会賞】

受賞候補者：小林 延至（慶応義塾大学）、中田 実紀子（慶応義塾大学）、白坂 成功（慶応義塾大学）  
対象業績：Nobuyuki KOBAYASHI, Mikiko NAKADA, Seiko SHIRASAKA: What Method is to Achieve the Purposes of Systems-of-Systems Having Different Boundaries as System-of-Systems for Each Organization?, International Journal of Japan Association for Management Systems, Vol.13, No.1, pp.15- 24, 2021  
推薦理由：企業などの組織には内部に様々な業務を対象とした複数の情報システムが存在する。当該論文は、これらのシステムから成る高次のシステム（System-of-Systems：以下 SoS）を対象とし、SoS そのものの目的と SoS を構成する各情報システムの目的とを同時に達成するための設計手法を提案するものである。企業のシステム設計の問題点として、部門間のビジネスプロセスの確定に関して、部門相互の理解不足や利益相反があるためその確定は難しく、全体最適とならないケースが多い。この点でトラブルも多く発生している。これに対し、当該論文は、詳細な設計プロセスと階層的な手順を示し、2 部門にまたがる新たなシステム設計手法を提示している。特徴としては、システム開発の上流工程である要件定義と設計の領域に新しさがあり、加えて、組織における部門間の合意形成を通じて誤解を解消するという、双方に最適なシステム構築ができるプロセスを提案している。さらに、製造業における製品の受注・保守にこの手法を適用し、実用性を検証している。当該論文は組織内部のシステム開発現場の課題に十分応えられるものであり、その学術性、実用性、発展性は高く評価できる。  
以上のことから、日本経営システム学会「学会賞」にふさわしい研究論文であると判断する。

### 【論文奨励賞】

受賞候補者：張 思穎（上智大学）  
対象業績：張思穎, 山下遥, 菊野日出彦：少人数の官能試験に基づく宮古島産マンゴーの経日劣化の評価に関する研究, 日本経営システム学会誌, Vol. 38, No. 3, pp.163-169, 2022  
推薦理由：当該論文は、直交配列表を用いた実験計画を、食物の品質評価に応用したものである。マンゴーを題材としており、分析の際、評価項目が、被験者の年齢、性別、マンゴーに対する価値観の違い、試験日の違いなど、多岐にわたる場合、通常多くのデータを必要とするが、非負値行列分解 (NMF: Nonnegative Matrix Factorization) を実施することで、少ないデータでも特徴を抽出できることを提示している。具体的には、温泉水により処理を行ったマンゴーと処理を行っていないマンゴーについて、時間経過による味の変化を評価するために、実験結果を 1 つの行列により表現し、NMF に基づき 2 つの非負値行列の積へと近似し、それをまとめ、各潜在クラスの特徴と被験者の関連性をみる方法を提案している。そして実証データから、マンゴーの嗜好度に着目した特徴行列を導き、データの潜在的構造を把握し解釈できるよう

にしている。当該論文は収穫から劣化までの期間が短く、味の変化が激しい食物に対する分析手法としても応用が期待できる。今後、さらなるデータサンプリングや分析の精度を高めることにより、汎用性の高い手法へと展開できる可能性を秘めており、将来性がある研究である。  
以上のことから、日本経営システム学会「論文奨励賞」にふさわしい研究論文であると判断する。

---

## 2022 年度第 5 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：開催日時：2023 年 5 月 1 日（月） 17 時 30 分～19 時 30 分
- II. 開催場所：Zoom 形式
- III. 出席者：椎原正次、上原衛、金子勝一、毛利進太郎、石田修一、今井正文、上西啓介、川中孝章、鄭年皓、田畑智章、長野寛之、柗紫乃、三森八重子、村山賢哉、柳田義継、板倉宏昭、稲永健太郎、奥井秀樹、近藤高司、佐藤修、島田裕次、東海詩帆、永松陽明、成川忠之、西口宏美、深澤琢也、堀江育也、松岡公二、水上祐治、村山誠、山下洋史、塩出省吾、松丸正延 記録者：東海詩帆（敬称略）
- IV. 審議事項
  1. 2022 年度第 4 回議事録の確認(柳田)：ご所属が記載されていない新規会員がいらっしゃるので、その確認をして欲しいと要望があった。その他は、特に異議なく承認された。
  2. 会員の入退会について(柳田)：特に異議なく承認された。
  3. 第 70 回全国研究発表大会の準備状況について(田畑)：発表件数は一般発表 43 件、学生発表 21 件、合計 64 件、オンラインのセッションは開催しない、懇親会は開催しないが飲食無しの歓談スペースを用意する旨の説明があり承認された。大会期間中の委員会の開催の有無、開催日程、理事会と委員会に必要なお弁当の数を 5 月 13 日までに確定し田畑常任理事に連絡するように依頼があった。学会 Web サイトに掲載されている予稿集ファイルの見出しが誤解を生んでいるようなので修正して欲しいとの要望があった。そこで、その対応を今井常任理事と会長で検討し修正することになった。川中常任理事より大会プログラムにおいて「表彰式」の開催を明示して頂きたいと要望があり、田畑常任理事が修正することになった。また会長より口頭発表者に関して会員資格の有無ならびに大会参加費の納入について事前に確認して欲しいと要望があった。大会が近づいているので検討が必要な事項が発生した場合は、大会実行委員長、大会委員長および会長に一任することになった。また、重大な事項の場合には、電子メールによる審議を実施することが承認された。
  4. 第 71 回全国研究発表大会について(永松)：第 71 回全国研究発表大会は 11 月 18 日(土)・19 日(日)に東北大学青葉山キャンパスにて開催する計画が説明され承認された。実行委員長は石田常任理事、委員は永松理事、佐々木常任理事が担当する。石田常任理事より、懇親会を開催する予定であることが報告された。また、第 72 回全国研究発表大会は麗澤大学で開催予定であることが報告され承認された。
  5. 2022 年度決算・2023 年度予算について(田畑)：2022 年度収支決算報告、国際関係特別会計収支報告ならびに貸借対照表の説明がなされた。また、前回理事会の決定に基づき繰越金の一部を基本財産へ組み込む処理が完了しペイオフの問題についても対応したことが報告された。なお、未収入金に関する報告があった。松丸理事より監査報告が付け加えられた。会長より総会での決算報告では、会員に基本財産の組み入れと 40 周年記念事業費についての報告をお願いしたいとの要請があった。また、年会費の未納者への督促は事務局が実施しているが、その状況を組織委員会が把握することが要請された。大会の参加費の納入状況に関しては永松理事に確認して頂くともに、口頭発表者の参加費については規定通りに運用されるか確認することになった。その後、2023 年度収支予算(案)の審議に移り、当日、資料 I-5 に基づいて説明がなされた。会長より 2022 年度の会費収入において予算と決算の乖離が大きいことから、2023 年度の予算案では見直すとともに、学会誌の刊行費について同様に見直すように依頼があった。財務委員会がこの方針に基づき修正案を作成することになった。最終案については、財務委員長と会長に一任されることになった。
  6. 第 44 回通常総会議案書について(柳田)：総会議案書の修正案を出席理事全員で確認し、誤植などを修正した。会長より議案書で使われる敬称はすべて「氏」で統一することが提案され承認された。また、総会終了後に直ちに表彰式を始められるように総会次第を記述することになった。さらに、村山常任理事より理事会審議細則の改訂を規定委員会の活動報告に追記することが提案され承認された。今後の修正については、会長と総務委員長に一任することになった。
  7. 総会および評議員会の開催について(柳田)：評議員会は 10 時半、総会は 12 時 50 分より対面にて開催されることが報告され承認された。案内はがきは、既に事務局から送付済みであることが報告された。
  8. 総会での役割分担について(椎原)：第 44 回通常総会における役割分担について検討がなされた。その

結果、全体の司会は金子副会長、総会議案書の第1号と第3号議案の説明は柳田総務委員長、第2号と第4号議案の説明は田畑財務委員長、監査報告は松丸監事が担当することになった。総会の議長には、毛利副会長を推薦することにした。書記2名と議事録署名人2名の推薦については、田畑常任理事、成川理事および会長に一任することが承認された。

#### V. 報告事項

1. オブザーバーの紹介(椎原)：第22期より常任理事として新たに理事会のメンバーに加われることになった大阪工業大学の江口先生、立命館大学の後藤先生、神戸学院大学の柴田先生の紹介があった。今回の理事会にはオブザーバーとして参加されているとの報告があった。
2. 第43回総会議事録について(椎原)：第43回総会議事録の作成完了についての報告がなされた。

---

## 2023年度第1回理事会のまとめ

---

I. 開催日時：2023年5月20日(土) 11時15分～12時15分

II. 開催場所：東海大学 品川キャンパス 4号館2階4206教室

III. 出席者：椎原正次、板倉宏昭、鄭年皓、西口宏美、石田修一、川中孝章、後藤智、柴田淳子、田畑智章、永松陽明、柗紫乃、水上祐治、三森八重子、村山誠、深澤琢也、上原衛、金子勝一、佐々木桐子、佐藤修、塩出省吾、曾我寛人、東海詩帆、中井秀樹、成川忠之、林誠、堀江育也、村山賢哉、毛利進太郎、柳田義継、山下洋史、松丸正延 記録者：東海詩帆 (敬称略)

#### IV. 審議事項

1. 学会役員・評議員・各種委員会委員について(椎原)：役員、評議員、各種委員会委員の案について説明があった。表彰委員として山田先生を追加する。また、40名の理事の枠に対して39名の理事になっているのは、大会実行委員長が理事でない場合に追加で指名するためとの説明があり異議なく承認された。
2. 就任承諾書と委嘱状の発行について(椎原)：事前に内諾を頂いている方については、就任承諾書を用意しない。第21期と同じ処理である。また、所属機関からの問い合わせをなくすために、委嘱状には「旅費交通費の支給はされない」旨を記載するとの説明があり異議なく承認された。
3. 2022年度第5回議事録の確認(椎原)：議事録を確認した。出席理事の氏名に誤植を修正し承認された。
4. 会員の入退会について(椎原)：前回の理事会から日がたっていないこともあり、入会希望者および大会希望者ともになしであることが説明され承認された。
5. 第70回全国研究発表大会の準備状況について(成川、田畑)：大会の準備は滞りなく整っているとの説明があった。発表件数は65件、大会参加者は事前申し込みの段階で130～140名の予定である。基調講演に多くの方が参加されるように促された。
6. 第71回全国研究発表大会について(永松)：第71回大会の開催案について説明がなされた。開催場所は東北大学の青葉山キャンパスCエリア「青葉記念会館」であり、約10万円の会場費(光熱費込)が必要である。基調講演は、東北大学大学院工学研究科所属の高橋信教授の「シネシスと経営システム(仮)」を予定している。開催計画に対して、特に異議なく承認された。また、急な審議が必要になった場合には、電子メールによる審議を実施することが了承された。
7. 第72回全国研究発表大会について(永松)：第72回大会は、2024年5月11日(土)、12日(日)に麗澤大学での開催を予定している。実行委員長は吉田健一郎先生である。椎原会長より、開催直前にゴールデンウィークがあるので発表申し込み、発表申し込み、発表原稿の提出期限、発表原稿の提出期限、総会資料の印刷等がタイトなスケジュールになるとの指摘があった。そこで、さまざまな締め切りを、広報委員会などと十分に調整し、前倒しすることが確認された。
8. 第44回通常総会議案書について(椎原)：配付資料の議案書を確認した。評議員会にて指摘された点について説明があり、議案書を訂正した。修正箇所については総会にて口頭で修正することになった。田畑常任理事より、第4号議案について、前回の理事会にて指摘された点を修正し、経年実績を鑑み現実に即した収支バランスをとったことが説明され異議なく承認された。
9. 日本経済学会連合『英文年報』の執筆について(椎原)：IJAMS編集委員長の石田先生に執筆をお願いする旨の提案があり、異議なく承認された。
10. 横幹連合「コトづくり至宝発掘事業」への推薦について(川中)：コトづくり至宝発掘事業について説明がなされた。学会として「QRコード」をコトづくりコレクションに推薦することが提案され承認された。推薦論文は川中常任理事が執筆されることとなった。

#### V. 報告事項

1. 評議員会について(椎原)：11名の評議員のご出席があり、総会議案書および学会運営についてご了解

を頂いた旨が報告された。

2. 総会での役割確認について(椎原)：総会の役割分担について確認がなされた。書記には、東海大学の森山先生、横浜市立大学の柴田先生、議事録署名人には、東海大学の西口先生、国土舘大学の税所先生を推薦する旨の報告があった。
3. その他：(1)メーリングリストの更新について(椎原)：理事会のメーリングリストを第22期用に更新するため、メールアドレスに変更のある場合は、椎原会長に連絡をするよう依頼があった。  
(2)大会関係の未払金について(佐々木)：事務局と財務委員会から大会関係で未収金があるとの指摘を受けている。この件は事実確認も含めて継続して調査を進めているとの報告があった。

---

## ヒューマンリソース（HR）研究部会のお知らせ

---

ヒューマンリソース（HR）研究部会 2023 年度第 3 回研究部会（第 146 回）を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2023 年 9 月 23 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

発表予定者：調整中

連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/secthr2023.html>

---

## 経営モデル研究部会のお知らせ

---

経営モデル研究部会 2023 年度第 2 回研究部会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2023 年 9 月 30 日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOM によるオンライン会議形式

発表予定者：調整中

連絡先：田畑 智章（東海大学） TEL.03-3441-1171（代表）/E-Mail:tabata@tokai-u.jp

〃：金子 勝一（山梨学院大学） TEL.055-224-1337/E-Mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ <http://www.jams-web.jp/information/sectmm2023.html>

---

## 入会者リスト

(2022. 10. 2~2023. 5. 1)

---

### 1. 正会員入会希望者

氏名	所属	氏名	所属
泉 陽介	産業リノベーション研究所	久宗 周二	神奈川大学
西村 俊樹		杉西 優一	(株) 日立製作所
翁 嘉華	神奈川大学	猶原 秀夫	山口大学大学院
松原 亮	パナソニックコネクト	金野 浩之	(株) 日立製作所
小林 和子	立命館大学	山口 敬造	(株) クニエ
西川 昌宏	神奈川大学	西内 友也	テクノボラリス
古田 克利	立命館大学		

### 2. 学生会員入会希望者

氏名	所属	氏名	所属
荒井 穰	東京工科大学大学院	チョウ エイ	立命館大学大学院
赤石 玲子	東海大学	銀屋 凜	日本大学
江澤 美花	東海大学	宋 榎帆	立命館大学大学院
森川 勇治	東北大学大学院	李 宜澤	東洋大学

# 日本経営システム学会 研究発表申込書

## 2023年度 第71回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1 ( )	2 ( )
当日の口頭発表者には*を付す	3 ( )	4 ( )
研究部会名 (研究部会発表の場合)		代表者名: ( )

発表要旨 (200字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					

- 注：1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。  
 2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)  
 3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



## 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3 パラードハイム 703  
 TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185  
 E-Mail: keieisys@jams-web.jp